

2

清見潟大学



清見潟ニュース

清見潟大学塾事務局

〒424-0817 静岡市清水区銀座 9-11

TEL: 054-367-3588 / FAX: 054-367-3599

URL: <https://www.kiyomigata.sakura.ne.jp>Mail: kiyomigata@cy.tnc.ne.jp

清見潟大学塾視察に

一月十五日(水) 東京市町村自治調査会 多摩交流センターの皆さんが、清見潟大学塾の視察に訪れました。

東京市町村自治調査会は、東京都の多摩・島しょ地域の自治の振興を図り、住民福祉の増進を目的とした行政組織です。その中の多摩交流センターでは住民交流などの支援も行っていて、市民が主導する生涯学習団体「TAMA市民塾」を開催しています。



「TAMA市民塾」の講座は半年単位の募集で、講座の継続はなく、令和七年四月からは十二講座が開講予定だそうです。会場は多摩交流センターセンター講義室だけとのことでした。

当日は、浜田交流館で開講している大正琴アンサンブル(池ヶ谷講師)を見学。その際には参加のきっかけについてなどの質問が出ました。

次に清見潟大学塾事務局に移り、塾生、講師の募集方法を含む運営について意見交換を行いました。

展示会・発表会のお知らせ

・第四十回度修了作品展

二月二十一日(金) ～

二十三日(日)

清水マリナート一階展示場

・第四十回度ステージ発表会

二月二十三日(日) 十二時半

清水マリナート小ホール

・「ハッピーピアノ」発表会

三月十三日(木) 十三時半

蒲原生涯学習交流館ホール

講師 空谷広美

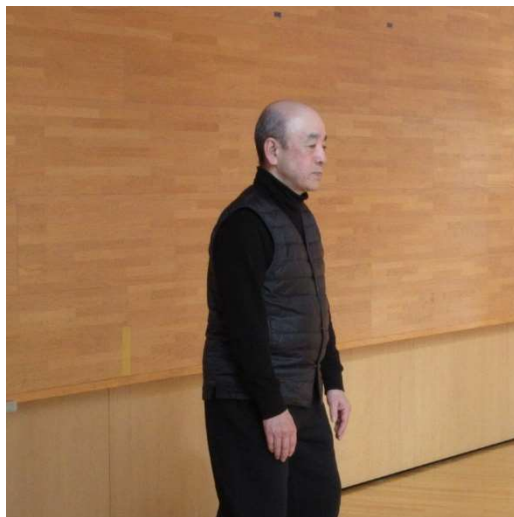
※二月二十三日(日) 午後清水マリナート大ホールで「松平健コンサート」(あのマッケンサンバですよ!!) が開催されます。

周辺道路の混雑が予想されますので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

(頭の体操の回答は右から淡 静 概口でした。皆さん分かりましたか。)

太極拳 自分に合っていた

事務手続きで興津交流館に行ったところ、奥に見たことのある人が・・・四十回度から始まった「氣功太極拳」の栗田先生。少し時間を頂き写真撮影とインタビューをさせてもらいました。



Q 東京からいらしたんですね。

A そうです。でも東京といっても杉並区でしたから東京都の西のはずれで、西は三鷹市や武蔵野市に接していました。

Q 静岡はいかがですか？

A やっぱり人が少ないですね。大学に入るまでの十八年間は静岡にいましたけど、そのころにぎわっていた商店街がさびれてしまっていて。昔は店の前の道

路まで商品が並んでいて、夕方は人があふれて歩くのも大変だったのに、いまでは店はあるけどそんなにお客がいませんよ。



Q 太極拳を始めたきっかけを教えてください。

A 学生時代にブルースリーの映画を観て中国武術に興味を持ったんです。いろいろな武術がある中で自分に合っていたのが太極拳でした。

二十代後半の話ですけど、仕事を止めて留学制度を活用して中国に

渡って習ってきました。ただ途中でお金が無くなってしまい帰国しました。



帰国してからは仕事をしながら、近くの体育館などを借りて稽古をしていました。

太極拳はゆっくりした動作の中で体に気が流れていくのを感じられ、自分の体を見つめることのできる武術です。奥が深く追求していくととても面白いですよ。一緒にいかがですか。

・氣功太極拳

興津生涯学習交流館

第一・三(火) 十三時半〜

講師 栗田 益実

書道展のお知らせ

第七十七回静岡県書道連盟主催

静岡県書きぞめ展清水支部展

会期 二月七日(金)〜九日(日)

九時〜十七時

但し最終日九日は十五時終了

会場 清水マリナート

一階ギャラリー

塾生が日頃の勉強の成果を発表して好成績を挙げました。おめでとうございます。

皆さんも会場へお出掛け下さい。

・静岡県書道協会会長賞

森 信男

・静岡市書道協会理事長賞

野矢とし子 桜井篤子

三原啓子 桜井八郎

永嶋玲子

・静岡県書道連盟賞

石川律子 久保田智

石野幸子 村木豊雄

河合青瑛 天野富子

青木初衣 古屋幸子

伏見芳子

提供

書道講師 太田静苑

獅子現る



今ではなかなか見ることがなくなつてしまった獅子舞。それを見せてもらえるというので、有度の交流館で月に一度水曜日に開講している「遊郭を旅する」にやってきました。「獅子舞は縁起物。遊郭はしきたりをととても大切にしていたので、おめでたい時には獅子舞が舞われたり、狐踊りやいろいろな伝統行事が行われていたんです。言ってみれば、遊郭は、伝統の継承地でもあったんですね」、と海野講師。

今日は葵区から、お酒と獅子舞をこよなく愛する獅子酔会のみなさんが来てくれました。



獅子舞は悪魔祓いや疫病退治になり、獅子に噛まれると役が落ちるとか、神が付く(かみつく)と言われたそうです。



頭の体操

真ん中に入る漢字は何でしょう

赤 一 閑 平
 早 車 大 要 冷 寂 濃 水
 火 略 穩 泊

正解は一ページのどこかにあります

まちの思い出

向島の電信局

本町 鈴木博 さん

清水の電信局は、明治十六年にできたんですよ。

昔から、清水町ってところは商業の盛んな所でしたから、町の有力者の皆さんが、ぜひ電信局を設置してほしいって工部省に請願書を出したんだそうです。

そこで、初めて本魚町に仮分局が造られ、翌年に、当時のお金で千円を掛けて、向島と呼ばれていた今の波止場付近に、清水電信分局が開局したんです。

実は、わたしのところに、開局して六番目の電報文があるんですよ。



市内で6番目の電報

これは小田原の久翁寺から先代の三保屋源七さんに届いたものでしてね。

電文は、「寛田、大病、言葉判ラヌ、キミヨリ知ラセ給イ」というものなんです。

源七さんは、当時、西久保の竜雲院の檀家総代をしていた関係で、必死で寛田さんの息子さんを探したところ、庵原の一乗寺にいたという話です。

この電報のおかげで、おそらく寛良さんは、お父さんの死に目に会えたでしょうね。

広瀬の隧道

広瀬 杉山八郎 さん

昭和二十三年に、広瀬から横砂に抜ける隧道が完成してからは、たまたまなく便利になったもんだっけ。



隧道完成で便利に

それまでは、波多打川に沿った道が一本しかなくて、街に出るのにえらく時間がかかったっけよ。

それに、台風たんびに道が流されたり崩れたりするもんだんで、しよっちゅう村の若い衆が総出で道の修復をしたよ。

そこで、山にトンネルを掘らざあつていうことになっただけが、最初に考えたのはわしの家のじいさんで、大正の初めごろ測量をやったつていうことを聞いたよ。

実際に工事に取り掛かったのは、昭和二十九年だったけえが資金集めに一番苦労したっけな。

うまいことに、この村には共有財産の山林があつたもんで、それを処分して、なんとか割り当て分をまかなつたけえが、当時の金で六千万円ぐらい工事費が掛かったかな。そりゃあ難工事だったよ。

今じゃあ、この道も県道になってるけえが、このごろは隧道がもうちつと広くなりやあええなつて思ふくらいだよ。

旧清水市総務部編集

「まちの思い出」

十二・十三ページより引用